

シンデレラの物語は、一般の女性が王子様に見初められて結婚を果たすサクセスストーリーというだけでなく、「幸せを掴むために必要なものは一体何か」を教えてくれる物語でもあります。シンデレラが幸せになれたのは、もともとの容姿の美しさや、フェアリーゴッドマザーの魔法のおかげだと思われがちですが、本当にそれだけでしょうか。

シンデレラは、大好きだった母親が亡くなってから、意地悪な姉たちにいじめられる日々を過ごしますが、そんな苦境に立たされても、やさしい心を失わず、仕事を一生懸命こなしました。どうしても辛いときは、暖炉の側で眠ったり、泣いたりして、自分なりに気持ちの切り替えを行っています。そして、突然現れたフェアリーゴッドマザーの不思議な言いつけに迷わず従う素直さや、舞踏会という未知の場所にもためらうことなく飛び込んでいく行動力もありました。一見内気に見えるシンデレラは、変化を受け入れる勇気を持ち合わせていたのです。

一方、彼女と対比する存在として、継母と姉2人という悪役たちがとても重要な役割を果たしています。いつも相手を見下し、プライドが高く、意地悪ばかりしてくる姉たちを、シンデレラは一切恨みませんでした。舞踏会では料理を分け与え、めでたく王子様と結ばれた後は、これまでしたことを謝る姉たちを快く許して、宮廷に住まわせるだけでなく、貴族とめあわせることもしています。

イギリスの作家・イラストレーターのリチャード・アンドレは、「シンデレラ」のレッスンのなかで次のような言葉を記しています。

「見た目の美しさは長続きしないが、何より大事なのはやさしさ、心の美しさである」

このメッセージは、幸せを掴むための大事なヒントとなるでしょう。

5-001



「シンデレラ」のレッスン

女性がいちばんほしいのは美しさ
だれもがその美しさに見とれることでしょう
でも、若さは咲きほこる花びらのようにつかのまのもの
としをとっても変わらないのは、やさしさと親切さ

そのことがわかっている女の子こそ、
お妃にふさわしいのです
シンデレラを王子様との結婚にみちびいたのは
ガラスの靴や、ドレスや、馬車ではなく、
やさしさでした

Though woman beauty most desires,
And deems it all the world admires,
Yet grace and kindness are cherished,
Long after youth's short bloom has perished.

Each maid in whom these gifts are seen,
Is worthy to become a Queen;
And, more than slippers, dress, or carriage,
They led to Cinderella's marriage.

【リチャード・アンドレのシンデレラ】(1888年)より 邦楽訳

シンデレラ物語の名言

Cinderella's Words

シンデレラの物語は絵本や映画など、様々な形で描かれてきました。骨子は変わらずとも、手がけた作家の意向により、細かいセリフや表現、また新たにストーリーを加えるなど、それぞれに個性があります。たくさんの絵本コレクションのなかから、特に印象的なフレーズや心に響く名言を集めました。

いつも良い子でいなさいね。そして何か起こったとしても我慢するのよ。もし辛いことがあっても、必ず最後にはいいことがあるから。

(シンデレラのお母さんが息を引き取る直前に残した言葉)

"My child, always be good, and bear everything that occurs to you with patience; then, whatever toil and troubles you may suffer during life, happiness will be your lot in the end."

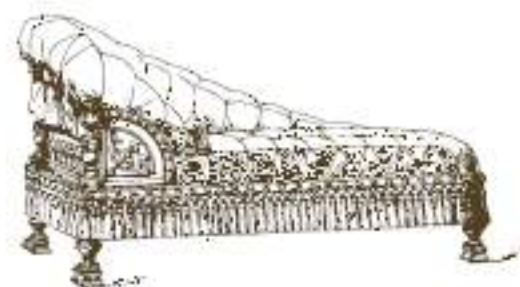
【シンデレラ】アメリカ/1858年

シンデレラは2人に顔をあげさせると、やさしくキスをして、「これからわたしを好きになってくれればいいのです」と言いました。

(姉たちがシンデレラに許しを請うシーン)

She lifted them up, kissed them affectionately, and said she only wanted them to love her now.

【シンデレラ】リチャード・アンドレ/マクローリン・ブラザーズ社/1888年



そうすると、ドアの前には食べ物を恵んでくれるように頼んでくる杖を持ったおばあさんがいました。

「わたしのよるご飯を少し分けてあげることはできないけれど、乾いたパンの耳よりはきつとまだわ。だから暖かい家の中に入ってきてください。いらっしやい」とシンデレラは言いました。

(舞路会に出かける姉たちを見送った後にやってきた物乞いのおばあさんに対して)

She found a little old woman, hobbling on crutches, who besought her to give her some food.

"I have only part of my own supper for you, Goody, which is no better than a dry crust. But if you will step in and warm yourself by the fire, you can do so, and welcome."

【シンデレラ】アメリカ/1858年

そして王子様とシンデレラは結婚し、誰もが2人の幸せを大いに望み、喜びました。さらに、どこまでも親切なシンデレラは、姉たちが宮殿の中にある小屋に住むことを許し、それぞれに上流階級の紳士と結婚する機会を与えたのでした。

(王子様との結婚後、シンデレラが姉たちにしたこと)

So they were married, and Cinderella, who was as good as she was beautiful, and wished every one about her to be happy, allowed her sisters to lodge in the palace, and gave them in marriage, that same day, to two lords belonging to the court.

【シンデレラ ガラスの靴のものがたり】アメリカ/1866年

シンデレラは貧しい人や母親のいない子どもたちにやさしい女性でした。なぜならシンデレラには彼らの気持ちがわかるからです。皆シンデレラのことを大好きで、彼女はとてもやさしく、寛大な心を持ったお姫様でした。(王子様と結婚した後も変わらぬ心のシンデレラの描写)

Cinderella was good to the poor, and to those who had no mothers, because she knew how unhappy they were, and everybody loved her, she was so kind and gentle.

【子どもの国からのおはなし】イギリス/1890年